

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	医療情報システム等標準化推進事業		担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	①平成16年度、②平成19年度		担当課室	研究開発振興課 医療技術情報推進室		室長：石井安彦		
会計区分	一般会計		施策名	VI-3-7 医療を始めとする社会保障分野の情報化を推進するとともに、社会保障・税に関わる番号制度の実現に向けた検討に参画する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	平成18年1月:IT新改革戦略 平成19年3月:医療・健康・介護・福祉分野の情報化グランドデザイン 平成20年8月:重点計画2008 平成21年4月:デジタル新時代に向けた新たな戦略～三カ年緊急プラン～ 平成21年7月:i-japan戦略2015 平成22年5月:新たな情報通信技術戦略				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	①高度医療情報普及推進事業 医療機関間等の連携や情報共有が図られるよう、電子カルテ等医療情報システム等で使用する医療用語等のマスターの整備。 ②医療情報システムのための医療知識基盤データベース研究開発事業 臨床研究や医療安全を推進する観点から、異なる表現であっても同一の意味する用語を一つの用語として整理できる電子辞書的なソフトの開発。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	別添のとおり							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	206	196	196	196	120	
	執行額	203	196	196				
	執行率(%)	98.5%	100.0%	100.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	電子カルテ等医療情報システムの連携を進めるため、必要な共通の情報基盤となる用語・コードについて、定期的な維持管理を行う。		成果実績		-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	医療用語等の標準マスター等のダウンロード件数		活動実績 (当初見込み)		57,640	70,048 (-)	88,403 (-)	- (-)
単位当たりコスト	411(円/件)		算出根拠	36,354,000円/88,403件=411円 平成23年度の①高度医療情報普及推進事業(36,354千円)				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	高度医療情報普及推進事業費	36	36	開発事業の更改に伴う予算減				
	データベース研究開発費	160	83					
計	196	120						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・病院内の医療情報システム(電子カルテ等)の普及を推進するための用語の標準化等の事業であり、ニーズ、優先度ともに高い事業である。 ・標準化したものの普及を目指す上では、引き続き、国が主導して実施。 ・必要に応じて理由を把握している。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容に応じて、公募並びに企画競争入札を行うことで競争性を確保している。 ・事業の実施に必要な最低限の経費しか計上していないため単位あたりコストの削減は困難であるが、その上で、必要があれば可能な限りの節減を実施。 ・負担の在り方については毎年見直しを行っており妥当である。 ・事業の実施に必要な支出を行うにあたり実情を勘案し支出を行っている。 ・必要最低限の経費のみの予算計上としている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・成果実績や活動実績から見て他の手段と比較しても実効性の高い手段である。 ・高度医療情報普及推進事業は用語・コードを定期的に更新し医療機関に対し情報提供を行うことが成果目標であるが、医療知識基盤データベースは、システム開発で3か年の国庫債務事業のため、明確に成果目標を立てることが困難。 ・用語・コードを定期的に更新し医療機関に対し情報提供を行っており、成果物は十分に活用されている。
	△	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	点検の結果、特に改善を要する事項は見つからなかった。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	医療情報システム等標準化推進事業については、電子カルテ等医療情報システム等で使用する医療用語等のマスターの整備等を行うための事業であり、本事業の必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	予算監視・効率化チームの所見は「現状通り」であるが、予算の効率的な執行を図るよう努め、データベース研究開発費については、平成25年度概算要求において縮減を図った。(▲77百万円)		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	103	平成23年行政事業レビュー	0084

①高度医療情報普及推進事業

厚生労働省
36百万円

【医療機関間等の連携や情報共有が図られるよう、電子カルテ等医療情報システム等で使用する医療用語等のマスターを整備するための補助】



【公募】

A. 一般財団法人医療情報システム開発センター
36百万円

（医療用語などのマスターの維持・更新等を行う。）

②医療情報システムのための医療知識基盤データベース開発

厚生労働省
160百万円

【医療分野の情報化に伴い蓄積される医療情報を整理するシステムに対する補助】



【企画競争】

B. 国立大学法人 東京大学
137百万円

（医療知識基盤データベースの開発を行う。）



【委託・随意契約】

C. 民間会社等(2)
15百万円

システム開発、人件費等

資金の流れ
（資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する）（単
位：百万円）

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について記載する。費
 目と使途の双方で実情が分かる
 ように記載)

A.(財)医療情報システム開発センター			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	マスター作成、維持管理に係る経費	22			
諸謝金	会議出席謝金及び研究協力謝金	8			
旅費	委員等旅費	2			
消費税	消費税	2			
その他	印刷製本費、通信運搬費等	2			
計		36	計		0
B.国立大学法人東京大学			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	教員給与、職員賃金、諸謝金	96			
委託費	人件費等	15			
一般管理費	大学の管理経費	12			
消費税	消費税	7			
その他	備品購入費、借料及び損料。会議費等	6			
旅費	職員旅費等	1			
計		137	計		0
C.国立大学法人大阪大学			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	医療知識基盤データベースの拡充業務	13			
計		13	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般財団法人医療情報シ	マスター作成・維持管理	36	随意契約	

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立大学法人東京大学	医療知識基盤データベースの拡充等	137	随意契約	

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立大学法人大阪大学	医療知識基盤データベースの拡充等	13	随意契約	
2	(株)エネゲート	医療知識基盤データベースの拡充等	2	随意契約	

【事業概要】

医療情報システム等標準化推進事業

<p>事業概要</p>	<p>①高度医療情報普及推進事業 電子カルテ等医療情報システムで使用するため、必要な共通の情報基盤となる用語・コードについて維持・管理を行い、医療機関が無償でダウンロードできるようにしている。</p> <p>②医療情報システムのための医療知識基盤データベース開発事業 医療分野の情報化に伴い蓄積される医療情報には様々な表現で入力が行われているところであり、同じ意味でも多様な表現があることから統計処理困難となっている。このため、臨床研究や医療安全を推進する観点から、異なる表現であっても同一の意味する用語を一つの用語として整理できる電子辞書的なソフトの開発を行っている。</p>
-------------	---